

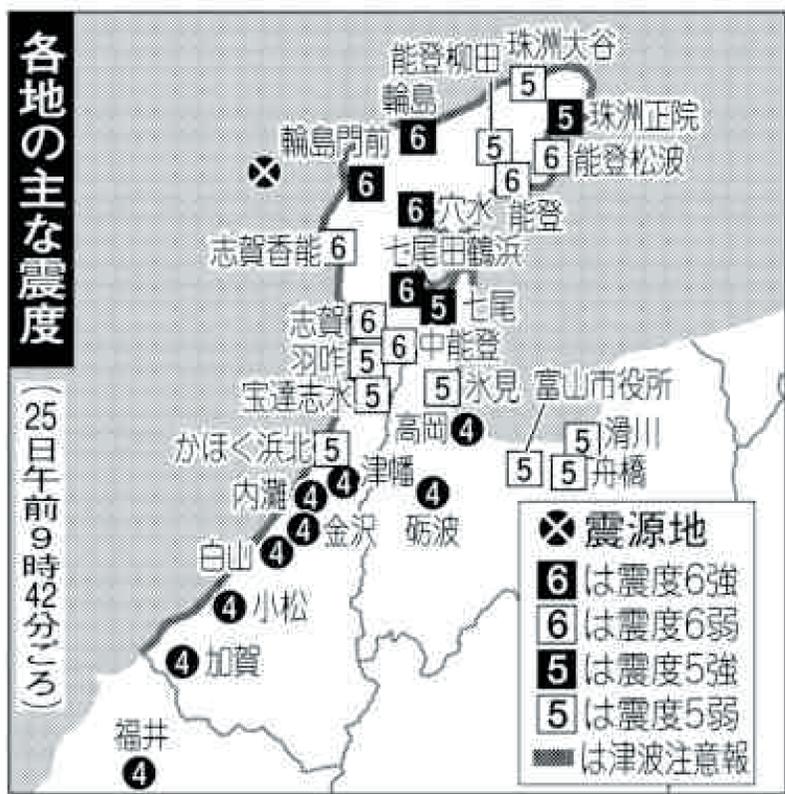
石川で震度6強

1人死亡162人けが

家屋倒壊、津波も観測



石川県輪島市で地震により倒壊した家屋＝25日午前



二十五日午前九時四十二分ごろ、北陸を中心に強い地震があり、石川県の七尾市、輪島市、穴水町で震度6強、志賀町や能登町などで震度6弱、珠洲市で震度5強を観測した。新潟、富山各県でも震度5弱を記録した。気象庁によると、震源地は能登半島沖で、震源の深さは約五〇キロ。地震の規模はマグニチュード(M)6.9と推定される。同庁は、石川県の能登、加賀の沿岸に、高いところでも〇・五メートル程度の津波が予想されるとして、一時、津波注意報を発令、一部で十センチ程度の津波を観測した。

石川県警によると、輪島市内の自宅の庭で灯籠の下敷きになったとみられる女性(52)が死亡。午後六時半現在、総務省消防庁によると、地震での負傷者は百六十二人となった。また、建物は石川県で住宅二百七十二棟が全半壊。輪島市では住民千人以上が避難した。

政府は首相官邸の危機管理センターに官邸対策室を設置、溝手顕正防災担当相は同日夕、輪島市の航空自衛隊基地に到着した。